

今月の題字



くまの

熊野第二小学校6年 赤木 咲愛 さん

熊野第二小学校2年 村井 歩夢 さん



【評】穴の中では、ネズミたちが大きいそがし。「こんな部屋がほしい」と想像を広げ、画面いっぱいに描いたことで、とても楽しい作品になりました。

熊野第二小学校4年 立道 琉愛 さん



【評】穂先がどこを通るのか、よく考えて曲がりを書いていきます。また、画の長さや向きも気を付けて書いたことから、整った文字になっています。

熊野の自然 (380)

ツタバウンラン

(オオバコ科)



葉がツタに似た形の花蘭という名です。葉は掌状に浅く裂け、長さ1〜4cmほど。長い柄があって、互生します。別名、ウンランカズラ、ツタカラクサ。ヨーロッパ原産。ロックガーデンなどの園芸用として大正初年に渡来し野生化した帰化植物で、現在では北海道〜九州に分布します。私が熊野で初めて見たのは平成17年、熊野団地でした。石垣や城壁を好んで生える多年草です。学名の種小名ムラリスは「城壁生の」という意味です。石垣を這う細い茎は長さ数10cmになり、枝を分けて広がります。石垣を選んだ草には特技があります。直径5mmほどの果実は、柄を長く伸ばし

向きを変え石垣の隙間にもぐるのです。熟すと裂けて多数の種子を出します。種子は直径約1mm。表面の不規則な隆起が特徴的です。花期は3〜8月。葉腋から柄を伸ばし、長さ1cmほどの花を1個つけます。白色〜淡紫色の唇形花です。上唇は2裂し直立。下唇には黄色の膨らみが2個あり、先は3裂します。上唇と下唇は雄しべ雌しべを守るように閉じ、虫が訪れた時だけ開きます。花の後部は袋状の距になっています。茎や葉柄、花柄などは紅紫色を帯びています。上唇と下唇に包まれた部分以外は、全体に無毛で平滑です。

【写真・文】

緑花文化士 富沢由美子

筆の駅ミニギャラリー

●小田原正龍書展 (退職記念)

時 5月8日(土)〜22日(土)

熊野町初神出身で毎日書道展審査会員の小田原正龍さんは、2020年3月県立安古市高校を退職。日頃から学んできた古典臨書を中心に新しい書を模索。今回は和綴じ作品30帖、小作品10点余を展示致します。



熊野町観光案内所「筆の駅」

熊野町出来庭10・6・24

☎855・1123 (いいふみ)

開10時〜16時 (各展示の最終日は15時閉場)

休水曜日・第3日曜日

※無料

※ギャラリーのご利用については、お問い合わせください。



防災無線放送再生ダイヤル 082-820-5640 (放送終了後24時間自動消法)

